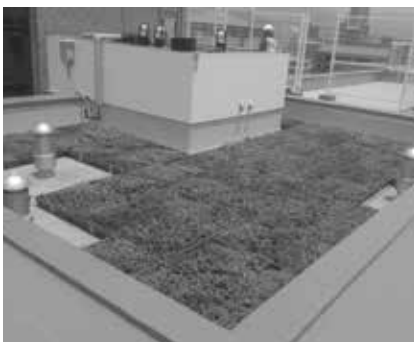




シヨン系材料である為、有機溶剤系材料の強い臭気が無く、施工者、居住者、環境にも優しい材料になっており、防水材では初めてエコマークを取得した材料でもあります。今後、健康被害の事等を考え是非ポリマーセメント系塗膜防水材ビッグサン並びに通気緩衝工法「ビッグサンRX工法」の使用をご検討願います。

効率的ではないでしょうか。

ビッグサンMR工法はおかげさまで、某大手自動車工場屋根等でもご採用頂いており、施工実績も増えております。

前述したメリットに加え、屋根に一切の穴（ネジ固定も含む）を開ける必要もないことから、**工場内での作業を継続したまま施工ができる**最も効果的な改修工法として認知してくださる方も多くおります。なにかお困りの際は、お気軽に弊社営業部までお問い合わせください。

金属屋根改修工法でまよったら
クール・ド・ルーフM.R工法です。

水系エポキシポリマーセメント
モルタルの新しい形です。
溶剤型塗布材料の下地調整材に
最適です！

コンクリート欠損部の補修に最適なポリマーセメントモルタル



緑化スタイルサイト
<http://ryokka.org>
 ↑ ↑ ↑ ↑
 ご覧下さい。

スタッフ紹介

岡山工場の森内と申します製造部に所属し1年が過ぎたところです。とにかく仕事を覚えるのに必死で、まだ理解しきれいていない部分や分からないことが多々あり、日々勉強の毎日をご過ごしています。

少しずつではあると思いますが、業界のこと自社のこと、自分の仕事のことについてもっと理解を深めていき、早く一人前になれるよう努力していきたいと思っています。

業務内容としては、主に電話・来客応対、作業表の入力、仕入処理、納品書の確認、書類のファイル管理、タイムカードの集計、商品の送り状の作成等を行っております。

特に商品の送り状を作成し控えをコピーし、それをお客様にファックスし、最終チェックを行うという作業で1日を費やすこともありますが時間に追われながら仕事をしています。

運送業者さんが荷物を取りにくるまでに送り状を作成しておかないといけないということもあり、非常に焦りを感じてしまいましたが、そんな時こそ丁寧にミスがないようにと心がけています。また、送り状の作成等で時間をとられている分、他の仕事が溜まってきてしまうので、いかに効率よく業務を行うかが今後の課題です。

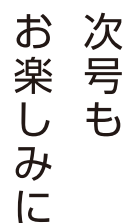
話は変わりますが、少しだけ私自身のことについてお話しさせて下さい。最近の趣味は



味としては、体を動かすことが好きなのもあり、時間があればですが平日はウォーキングをしてたり、休日になると友達と体育館を借りてバスケットボールやバレーボール、バドミントンをしたりしています。遊び感覚ですが、スポーツをして汗をかくと凄く清々しい気持ちになりますし、高校まではソフトボールをしていたのですが、引退後、運動不足だったので、体になまりが少し解消された気になります。

しかし、運動することも好きなのですが、それと同時に食べることも好きなので、運動している以上に食べてしまいがち。何を食べても基本美味しいと感じてしましますし、食欲が止まりません。もうすぐ夏がきますし、食欲と戦っていきたいと思います。

最後になりましたが、今後とも精一杯頑張っていくますので、どうぞよろしくお願ひ致します。暑い日が続いていきますので、皆様体調管理には十分お気を付け下さい。



URL : <http://www.dainichikasei.co.jp>



- 本社
〒571-0030 大阪府門真市末広町 8-13
TEL : 06-6909-6755(代) / FAX : 06-6909-6702
- 東京支店
〒105-0012 東京都港区芝大門 1-4-14 芝栄太楼ビル 5F
TEL : 03-3436-3801(代) / FAX : 03-3436-3803

映画で学ぶ 環境問題

ヒラリー・スワンク ライフ

原題：Mary and Martha

監督：フィリップ・ノイス

製作：ヒラリー・ビーバン・ジョーンズ
リサ・ブルース

ジュヌビエーブ・ホフマイア

出演者：ヒラリー・スワンク

ブランド・ブレシン

ジェームズ・ウッズ

上映：93分

公開：2013年

製作国：イギリス・アメリカ合作



今回ご紹介するのは、アメリカ国内ではテレビドラマとして放映された作品で、原題は「メアリーとマーサ」ですが、日本でDVD販売されており、アカデミー賞女優のヒラリー・スワンクが主演をつとめることから「ヒラリー・スワンクライフ」と名付けられました。

ヒラリー演じるメアリーは、経営者の夫とともに裕福な生活をしています。立派な家に住み、高級車に乗り、ママ友たちとのヨガやお茶といった優雅な時間を過ごすなど、誰から見ても満たされた人生を歩んでいます。

ところがある日、息子が学校

でいじめにあつてゐることを知り、環境を変えることで問題から抜け出そうとします。結局、夫にも息子本人にも相談せず、かなり強引に学校を辞めさせ、自分と息子の2人だけでアフリカへの長期旅行に向かいます。

そんなワガママで思い上がった彼女が
出会ったのは、同じように息子を亡くしたイギリス人の母親マーサでした。マーサの息子も、モザンビークでボランティヤ活動中にマラリアにかかって死亡したのです。

マーサと過ごすことで、多くの気づきを得るメアリーは、セレブなママ仲間とは距離をおき、マーサとともにマラリア撲滅活動家として行動を起こします。ついには、長年反目していた実父も巻き込み、米国議会の公聴会でマラリア撲滅を訴えるので

医療過疎でもある自然豊かなアフリカは、楽園であるとともに支援が必要な地域でもあることを、この映画から知ることができます。同時に、環境問題で重要なのは、環境汚染とともに生態系を知ることでもあることも学ぶことができます。

こうしたメッセージ性のある作品ではヒラリー・スワンクの名演が光り、多くの視聴者の共感を得ているようです。ぜひ一度鑑賞ください。

ずなメアリーは、徐々に体調を崩すジョージを前にしても、単なる風邪か体調不良と思い込みます。まして医療施設まで何時間もかかる地域のため、病院にたどりつくまでにジョージは瀕死の状況に。結局、一人息子のジョージは手遅れにより、病院で命を落としてしまいます。

冒頭の優雅な日常とは、かけ離れた状況に追い込まれるメアリー。息子を亡くして初めて、アフリカでのマラリア感染の実態を知ることになります。

実は旅行前に、かかりつけ医から予防接種を薦められていたのに「冬に

した。

サハラ砂漠以南のアフリカで、年間100万人もの感染症被害そして毎年50万人もの子供達が亡くなっているマラリアについて、年に一度のチャンスである公聴会で感動的な演説をして、見事に多額の予算を勝ち取り、蚊帳の贈呈を促進することができたメアリー。

ここでようやく筆者は、本作前半の平和なメアリーは、先進国市民の投影であったのだと気づきます。